

清松園デイサービスセンター運営推進会議録

事業所名	清松園デイサービスセンター	サービスの種類	地域密着型通所介護施設
事業所住所	北九州市門司区大字畑1960番地		
開催日時	平成30年9月7日(金曜) 13:55～15:00		
開催場所	清松園デイサービスセンター内 娯楽室		
出席者 氏名 構成区分等	清松園デイサービスセンター ※ ご利用者様とご家族様の氏名は個人情報保護のため記載致しません。 入所者代表 (0)名 家族代表 (1)名 所長 天野弘隆 生活相談員 山本朱美 地域住民代表 尾ノ上町内会長 古田伸吉 様 北九州市社会福祉協議会職員 介護サービス相談員 北原聡美 様 地域密着型通所介護に知見を有する者 日赤豊寿園通所介護係長 荒木美奈 様		

平成30年度 第1回 清松園デイサービスセンター 運営推進会議録

レジュメ(式次第)通りの進行を所長天野が行う。

運営会議参加者の紹介。利用者ご家族様はイニシャルとするところではあるが、ご家族様自身からお名前を名づける。

平成30年度8月までのデイサービス利用状況を前年度と比較し説明。

平均利用は昨年度と比較して若干伸びているように見えるが、週1回の方が2回に、週2回の方が3回にと回数を増やしている。現実の登録者数はむしろ減ってきているのが現状である。平均介護度も下がっている。

職員状況について

昨年度(前回推進会議)と変わりなし。管理者1名・生活相談員1名・介護員兼生活相談員1名・介護員2名・看護師(機能訓練指導員)1名。

ボランティア関係

昨年度(前回推進会議)と変わりなし。光国寺さまの法話やAVE映写慰問(特養と合同の行事)については、時間が合わず最近参加が少なくなっている。

職場体験受入について

支援学校等の障害がある学生を受け入れています。清松園では障害者雇用に向きを考えています。実習に来てもらい、できることをしてもらいこのような仕事があることなどや、高齢者が援助を必要としている時の対応などを学んでもらい就労へも結びついていけばと思っています。

行事について

4月に特養であった家族会のアトラクションを見学した。北九州市立大学の応援団が来られ演舞を披露。

女性応援団長の迫りに皆さん喜んでおられました。

5月こどもの日の慰問で同法人の門司ヶ関学園へ行き、3歳前後の園児と交流をしこちらも大変印象深いものになったのではと思います。

その他、シルバー文化祭に向けての作品を創ったり、農園づくりを随時行っています。ミニトマトやキュウリが出来た時には、センター内で試食をし大変喜ばれています。

その他について

7月6日に西日本豪雨により先ずは被災された方の一日も早い復興をお祈りします。

さて、清松園でも職員が出勤できない！ また、道路状況の悪化により送迎が困難となり、ご利用者様・ご家族様には急きょご迷惑をおかけしたることについて触れる。

7月6日当日はデイサービスをやむおえず休館とし、その後も都市高速道路などの通行止めによる交通渋滞により送迎に時間がかかってしまったことなどをお詫びする。

清松園デイサービスでの非常災害対策として、まずは利用者の安全確保。次に年2回職員の消火訓練を実施し、自己啓発並びに火災時の手順を確認している。避難訓練は2カ月ごとに災害や天災等様々な事を想定しておこなっている。ちなみに、清松園～最短の岸壁は1,200mで玄関前の標高が13mです。40Kmのスピードでも1分で到達してしまい津波の速度を考えると海岸に到達してからでは避難が困難であるので地震・津波の情報を受けてからの判断が重要になってきます。

高齢化が進む中で地域にも独居の高齢者やなんらかの障害のある方もいますので、デイサービスの利用や市民センター等の健康活動を受けることも災害予防の1つではないかと思う。

前回の運営推進会議より

・再度清松園でのショートステイ復活の声がご家族様よりあがる。

今は就労者の問題が深刻化しており、介護・看護、調理員と全ての職種で不足している。介護保険制度の問題もありませんかと思うようには進展しない旨を参加者に理解をいただく。

・介護者の賃金が安いのでは？

昔から3Kの職業と言われ、専門学校なども軒並み減少してきており国も様々な賃金を上げるような政策を出しては来るもののまだまだ一般的には低いと思う。これはセンター長個人的な意見であり実際に賃金が上がりすぎると施設が潰れてしまうのも現実である。

今回センターへの要望や意見などはなく閉会する。

また、皆さん施設が勤める方が居れば紹介したいけれどもなかなかやはり居ない様子である。

デイサービスや福祉業界の運営が上手くいくように出来る限り協力しますとのこと。

次回開催予定日	センター長確認 印
平成31年3月	